

工事監理状況報告書(鉄骨造)

完了検査

令和 年 月 日

(あて先) 建築主事

確認済証番号	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主 氏名	

上記、建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所
		会社名
		報告者 氏名

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録	
			A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結果
1 確認表示板(法89)	1 建築確認表示板の設置	適:不	A	適:不適
2 敷地の衛生及び安全(法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	適:不	A:B:C	適:不適
3 敷地と道路の関係 (法42 43)	1 道路の幅員	適:不	A:B:C	適:不適
	2 道路に接する敷地の長さ	適:不	A:B:C	適:不適
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	適:不	A:B:C	適:不適
	4 2項道路の後退	適:不	A:B:C	適:不適
4 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	適:不	A:B:C	適:不適
	2 基礎形状・建物形状	適:不	A:B:C	適:不適
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	適:不	A:B:C	適:不適
5 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	適:不	A:B:C	適:不適
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	適:不	A:B:C	適:不適
6 設備 (令129の2の4~7等)	1 浄化槽の仕様・処理能力	適:不	A:B:C	適:不適
	2 配管・配線の種類・形状・寸法・設置状況等	適:不	A:B:C	適:不適
	3 給排水設備の種類・形状・寸法・設置状況等	適:不	A:B:C	適:不適
	4 ガス設備の形状・寸法・規格・性能等	適:不	A:B:C	適:不適
7 外装仕上げ(法22、23、24、62、63)	1 屋根・外壁・軒裏材の仕上げ	適:不	A:B:C	適:不適
8 耐火、準耐火建築物(法2)	1 主要構造部の仕様	適:不	A:B:C	適:不適
9 外壁開口部の防火戸等(法2、64)	1 網入りガラス、シャッター、FD等	適:不	A:B:C	適:不適
10 特殊建築物等の内装(法35の2)	1 壁・天井の仕上げ	適:不	A:B:C	適:不適
11 居室の採光・換気(法28)	1 間取り	適:不	A:B:C	適:不適
	2 外壁の開口部の大きさ、機械換気設備の仕様	適:不	A:B:C	適:不適
12 階段及び踊場(令23~26)	1 幅・蹴上げ・踏面の寸法、手摺	適:不	A:B:C	適:不適
13 特殊建築物等の避難(法35)	1 避難施設(下記項目を除く)	適:不	A:B:C	適:不適
	2 排煙設備(令126の2、126の3)	適:不	A:B:C	適:不適
	3 非常用の照明装置(令126の4、126の5)	適:不	A:B:C	適:不適
	4 非常用出入口(令126の6、126の7)	適:不	A:B:C	適:不適
	5 敷地内通路(令128)	適:不	A:B:C	適:不適
14 防火区画等	1 界壁(令22の3 令114)	適:不	A:B:C	適:不適
	2 防火区画(令112)	適:不	A:B:C	適:不適
	3 避雷設備(法33) 20mを超える建築物	適:不	A:B:C	適:不適
15 シックハウス対策 (法28の2、令20の5)	1 クロビリホスの使用禁止	適:不	A:B:C	適:不適
	2 内装下地材の種類	適:不	A:B:C	適:不適
	3 接着剤の種類	適:不	A:B:C	適:不適
	4 内装仕上げ材の種類	適:不	A:B:C	適:不適
	5 塗料の種類	適:不	A:B:C	適:不適
	6 建具・造り付家具の種類	適:不	A:B:C	適:不適

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録		
			A: 目視検査	結果	
			B: 計測検査		
			C: 監理者報告		
16 シックハウス対策 (法28の2、令20の5)	7 換気区画・換気ルート	適：不	A：B：C	適：不適	
	8 換気設備機器の性能(換気風量)	適：不	A：B：C	適：不適	
	9 天井裏等の下地材	適：不	A：B：C	適：不適	
	10 気密層・通気止め	適：不	A：B：C	適：不適	
17 基礎・地盤(令38、79、告示1347)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法(	適：不	A：B：C	適：不適	
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容(	適：不	A：B：C	適：不適	
	3 杭種・工法・打設結果の確認	適：不	A：B：C	適：不適	
	4 径、長さ、本数	適：不	A：B：C	適：不適	
	5 杭偏芯の有無・処理(基礎・梁の補強)	適：不	A：B：C	適：不適	
	6 杭頭処理	適：不	A：B：C	適：不適	
	7 鉄筋の品質・規格(ミルシートの確認)	適：不	A：B：C	適：不適	
	8 主筋・あばら筋等の本数、径及び間隔、かぶり厚	適：不	A：B：C	適：不適	
	9 主筋の定着	適：不	A：B：C	適：不適	
	10 継手の位置	適：不	A：B：C	適：不適	
	11 継手試験結果(引っ張り、超音波)	適：不	A：B：C	適：不適	
	12 梁貫通補強	適：不	A：B：C	適：不適	
	13 コンクリートの品質・規格	適：不	A：B：C	適：不適	
	14 型枠存置期間	適：不	A：B：C	適：不適	
	15 基礎出来形(各部材の形状、寸法の確認)	適：不	A：B：C	適：不適	
18 上部構造 (令66、67、68) (告示1456) (告示1464)	建築物全体	1 建築物の形状	適：不	A：B：C	適：不適
	部材の配置	2 建築物の建て入れ精度	適：不	A：B：C	適：不適
	部材の仕様	3 柱・大梁・小梁の配置	適：不	A：B：C	適：不適
		4 垂直・水平ブレースの配置	適：不	A：B：C	適：不適
		5 デッキプレート、ALC板の方向性	適：不	A：B：C	適：不適
		6 鋼材・ボルトの材質、形状、寸法	適：不	A：B：C	適：不適
	柱脚の施工 状況	7 ボルトの縁端距離	適：不	A：B：C	適：不適
		8 柱とベースプレートの溶接	適：不	A：B：C	適：不適
		9 ベースプレートの寸法	適：不	A：B：C	適：不適
		10 アンカーボルトの径、長さ、位置、二重ナット	適：不	A：B：C	適：不適
		11 ベースプレート下モルタル充填	適：不	A：B：C	適：不適
		12 脚部の配筋・根巻き・埋込み	適：不	A：B：C	適：不適
	柱・梁の仕口 部	13 突合せ溶接の位置、状況	適：不	A：B：C	適：不適
		14 ダイヤフラムとフランジの位置、状況	適：不	A：B：C	適：不適
		15 スクラップ、エンドタブ、裏当て金の確認	適：不	A：B：C	適：不適
	梁接合部	16 HTBの径、本数、添え板厚	適：不	A：B：C	適：不適
		17 ビンテールの破断(トルシア型)	適：不	A：B：C	適：不適
		18 マーキングのずれ(全てのHTB)	適：不	A：B：C	適：不適
		19 高力六角ボルトの締付け(JIS型)	適：不	A：B：C	適：不適
		20 摩擦面の処理	適：不	A：B：C	適：不適
	その他  (令79の3)	21 溶接部の検査結果	適：不	A：B：C	適：不適
		22 床の仕様、接合方法	適：不	A：B：C	適：不適
		23 ブレースの接合部、たわみ	適：不	A：B：C	適：不適
		24 梁等貫通個所の位置、補強	適：不	A：B：C	適：不適
		25 さび止め塗装	適：不	A：B：C	適：不適
		26 コンクリートのかぶり厚さ(SRC)	適：不	A：B：C	適：不適
19 柱の防火被覆(令70)	1 防火被覆の状況	適：不	A：B：C	適：不適	

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録	
			A:目視検査	結果
			B:計測検査	
			C:監理者報告	
20 その他 ※3		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適
		適：不	A：B：C	適：不適

※4  指示内容	

検査に必要な図書	確認関係図書	■ 確認図書 ■ 告示第1347号による基礎構造図
	使用材料の品質を示す書類	■ コンクリート圧縮強度試験結果 ■ コンクリートの品質(スランプ、空気量、塩化物) ■ 鉄筋・鉄骨ミルシート ■ 使用材料品質証明書 □ シックハウスに係る内装仕上げ材料等の写真
	工事監理報告関係	■ 基礎配筋検査記録・写真 □ 自主検査報告書 □ 施工要領書 □ コンクリート工事施工結果報告書
	検査結果報告書	■ 杭工事施工結果報告書 ■ 溶接部検査結果報告書 ■ 鉄骨精度測定結果 ■ 露出型柱脚施工管理報告書
	※5 その他	■ 認定・評定書の写し ■ 工事写真 □ その他

※1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に○印、不適合は「不」に○印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないでください)

※2 太線枠内は記入しないで下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載します。

※4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号(例:3-1)と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。

※5 検査に必要な図書について、「■」の書類は必ず用意し、「□」は監理状況が確認できれば、それに代わる書類等でも可とします。また、中間検査時にすべて検査が終了している書類については用意しなくてもかまいません。